

フルティフォーム 50 エアゾール 56 吸入用
 フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用
 フルティフォーム 125 エアゾール 56 吸入用
 フルティフォーム 125 エアゾール 120 吸入用

【この薬は？】

販売名	フルティフォーム 50 エアゾール 56 吸入用 Flutiform 50 Aerosol 56 puffs フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用 Flutiform 50 Aerosol 120 puffs	フルティフォーム 125 エアゾール 56 吸入用 Flutiform 125 Aerosol 56 puffs フルティフォーム 125 エアゾール 120 吸入用 Flutiform 125 Aerosol 120 puffs
一般名	フルチカゾンプロピオン酸エステル/ホルモテロール fumarate 水和物 Fluticasone Propionate/ Formoterol Fumarate Hydrate	
含有量 (容器内で 量り取られ る量)	フルチカゾンプロピオン酸エス テル 50 μ g /ホルモテロール fumarate 水和物 5 μ g	フルチカゾンプロピオン酸エス テル 125 μ g /ホルモテロール fumarate 水和物 5 μ g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、気管支拡張剤と、ステロイド性抗炎症剤と呼ばれる薬の両方を含んだ吸入剤です。
- ・この薬は、吸入してすぐに効果はあらわれませんが、長時間にわたり気管支を拡張、さらに炎症をおさえることにより、呼吸を楽にします。
- ・次の病気の人に処方されます。

気管支喘息（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入 β_2 刺激剤の併用が必要な場合）

- ・この薬は、毎日規則正しく使用する薬で、喘息の発作を速やかに鎮める薬ではありません。発作時には、別に処方された発作止め薬を使用するか、ただちに受診してください。
- ・体調がよくなったと自己判断し、この薬を含めた喘息薬の使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・有効な抗菌剤のない感染症にかかっている人
- ・全身の真菌症にかかっている人
- ・過去にフルティフォームに含まれる成分で過敏症のあった人
- ・男性における夜間多尿による夜間頻尿に対してデスマプレシン酢酸塩水和物（ミニリンメルト）を使用している人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・結核性疾患の人
- ・感染症にかかっている人（有効な抗菌剤のない感染症にかかっている人、全身の真菌症にかかっている人を除く）
- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・高血圧の人
- ・心臓に障害のある人
- ・糖尿病の人
- ・低カリウム血症の人
- ・気管支粘液の分泌が著しい人
- ・長期または大量の全身性ステロイド^{*1}による治療を受けている人
- ・低酸素血症の人
- ・肝臓に重篤な障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人

・授乳中の人

*1 全身性ステロイド：ステロイドと呼ばれるグループに属する薬のうち飲み薬と注射薬のこと。この薬は吸入薬なので「全身性ステロイド」ではありません。

○この薬には併用してはいけない薬 [デスモプレシン酢酸塩水和物 (ミニリンメルト)] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は吸入薬で、飲み薬ではありません。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の使用量および回数は、次のとおりです。

販売名	フルティフォーム 50 エアゾール 56 吸入用 フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用	フルティフォーム 125 エアゾール 56 吸入用 フルティフォーム 125 エアゾール 120 吸入用
一回量	2噴霧 (アルミ容器を2回押す)	2噴霧～4噴霧 (アルミ容器を2回～4回押す)
吸入回数	1日2回吸入	

通常、小児の使用量および回数は、次のとおりです。

販売名	フルティフォーム 50 エアゾール 56 吸入用 フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用
一回量	2噴霧 (アルミ容器を2回押す)
吸入回数	1日2回吸入

●どのように使用するか？

- ・吸入方法に関しては使用説明書をよく読んで使用してください。
また、末尾の「フルティフォームの吸入方法」も参照してください。
不明な場合は、医師や薬剤師に相談してください。
- ・口腔内カンジダ症やしゃがれ声の予防のため、この薬を吸入した後はうがいを
してください。うがいができない場合は、口の中をすすぐようにしてください。

●この薬を吸入できる回数は？

〔フルティフォーム50エアゾール56吸入用、フルティフォーム125エアゾール56吸入用〕 容器1缶で56回噴霧できます。

〔フルティフォーム50エアゾール120吸入用、フルティフォーム125エアゾール120

吸入用〕容器1缶で120回噴霧できます。

初めて噴霧する場合、または3日以上使用しなかった場合は、アルミ容器を4回空噴霧してから使用してください。

アルミ容器を押すと自動的にカウンターが動き、最初は緑、使っていくうちに黄色、赤色へ変わっていきます。カウンターを毎日確認し、この表示が赤色になりましたら、新しい薬を準備してください。表示が「0」（ゼロ）になったら新しい薬と交換してください。

●効果が不十分な場合の対応

この薬を毎日規則的に使用しても効果が不十分な場合には、できるだけ早く受診してください。

●使用し忘れた場合の対応

2回分を1度に吸入しないでください。気付いたらすぐに1回分を吸入してください。ただし、次に吸入する時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分吸入してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

頻脈、動悸（どうき）、不整脈、手足や首のふるえ、頭痛、筋痙攣（けいれん）などの症状があらわれることがあります。場合により、心停止にいたることもあります。患者さんは過量使用時の危険性について十分理解できるまで説明を受けてください。

また、副腎皮質機能の低下により、体がだるい、意識の低下、意識の消失、嘔吐、食欲不振、発熱、冷汗が出る、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなるなどの症状があらわれることがあります。

このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し、受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合は、保護者も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・この薬は毎日規則正しく使用する薬です。主治医の指示なく、自己判断で使用を中止したりしないでください。この薬の投与を突然中止すると症状の急激な悪化を起こすことがあります。
- ・この薬は、喘息の発作を速やかに鎮める薬ではありません。発作時には別に処方された発作止め薬を使用するか、できるだけ早く主治医または近くの医療機関を受診してください。また、発作止めの薬を使う回数や量が増えてきた時や、喘息の症状が抑えられない場合は、できるだけ早く主治医に相談してください。
- ・過量に使用すると、不整脈（頻脈、動悸など）があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し、受診してください。

場合により、心停止にいたることもあります。

- ・この薬を含めた吸入ステロイド薬を連用した後に、クッシング症候群（肥満、満月様顔貌（ムーンフェイス）、筋力の低下など）、副腎皮質機能の低下、白内障などがあらわれることがあるので、特に長期間使用したり、大量に使用したりする場合は、定期的に検査が行われます。
- ・この薬との関連性は明らかではありませんが、この薬を含めた吸入ステロイド剤を使用中に全身性ステロイド*1 剤を減量・中止した場合、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症があらわれることがあります。しびれ、発熱、関節痛などの症状があらわれたら、医師に相談してください。

これらのことについて、患者さんまたは保護者の方は理解できるまで十分説明を受けてください。

- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック、アナフィラキシー	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
重篤な血清カリウム値低下 じゅうとくなくけっせいカリウムちていか	脱力感、喉が渇く、筋力の低下、手足のまひ、息苦しい、意識の低下、意識の消失
肺炎 はいえん	発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、脱力感、発熱
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下
顔面	顔面蒼白

部位	自覚症状
口や喉	喉のかゆみ、喉が渇く、咳、痰
胸部	動悸、息切れ、息苦しい
手・足	手足が冷たくなる、手足のまひ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
筋肉	筋力の低下

【この薬の形は？】

販売名	フルティフォーム 50 エアゾール 56 吸入用*	フルティフォーム 125 エアゾール 56 吸入用
外観		

※ フルティフォーム 50 エアゾール 56 吸入用は小児への使用が認められている製剤です。

販売名	フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用*	フルティフォーム 125 エアゾール 120 吸入用
外観		

※ フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用は小児への使用が認められている製剤です。

【この薬に含まれているのは？】

販売名	フルティフォーム 50 エアゾール 56 吸入用 フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用	フルティフォーム 125 エアゾール 56 吸入用 フルティフォーム 125 エアゾール 120 吸入用
有効成分	フルチカゾンプロピオン酸エステル/ホルモテロールフマル酸塩水和物	
添加物	クロモグリク酸ナトリウム、無水エタノール、 1, 1, 1, 2, 3, 3, 3-ヘプタフルオロプロパン	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・内側のアルミ容器をアダプターからはずさないでください。
- ・噴霧口のつまりを避けるため、少なくとも1週間に1回以上アダプターの吸入口の外側と内側を乾いた布やティッシュペーパーでよく拭き、清潔に保管してください。
- ・アルミ容器は絶対にぬらさないでください（噴霧口がつまる原因となります）。
- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・アルミ容器は火中に投入しないでください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：杏林製薬株式会社

(<https://www.kyorin-pharm.co.jp/>)

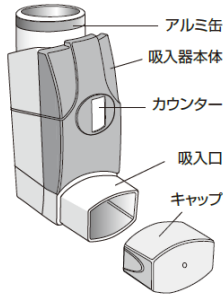
くすり情報センター

電話：0120-409341

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・会社休業日を除く）

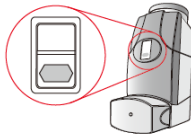
本剤は気管支喘息の発作を予防するための薬です。
すでに起きている発作を軽減する薬ではありません。
医師の指示どおり毎日規則正しく使用してください。

フルティフォーム®の各部名称



薬の残量(カウンター表示)について

- アルミ缶を押すと、自動的にカウンターが動き、最初は緑色、使っていくうちに黄色、赤色へ変わっていきます。
- 表示が「0」になりましたら、吸入せず、新しいフルティフォーム®と交換してください。
- カウンターは以下のように表示されます。
56吸入用:56・45・35・30・25・20・15・10・5・0
120吸入用:120・110・100・90・80・70・60・55・50・45・40・35・30・25・20・15・10・5・0



使用上の注意

- この薬には添加剤として無水エタノールが含まれています。アルコールに過敏な方は、医師・薬剤師に相談してください。
- 本剤は吸入薬で、飲み薬ではありません。
- 指示された使用量と回数を必ず守ってください。
- 症状が良くなったと思っても、自己判断で使用をやめしないでください。
- 喘息の症状が抑えられない場合には、できるだけ早く医療機関を受診してください。
- 妊娠または妊娠している可能性がある人、授乳中の人は、医師に相談してください。
- 他の医療機関を受診した場合、あるいは薬局などで他の薬を購入する場合には、フルティフォーム®を使用していることを医師や薬剤師に必ず伝えてください。

保管上の注意

- 内側のアルミ缶を吸入器本体から外さないでください。
- 噴霧口のつまりを避けるため、少なくとも週1回以上吸入器の吸入口の外側と内側を乾いた布やティッシュペーパーでよく拭き、清潔に保管してください。
- アルミ缶は絶対に濡らさないでください(噴霧口がつかまる原因となります)。
- 30℃をこえる場所に保管しないでください。
- アルミ缶は火中に投入しないでください。
- 使用後は、地方自治体で定められた処理方法に従って廃棄してください。

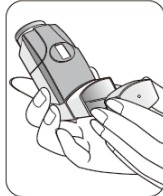
フルティフォーム®の吸入方法については、裏面をお読みください。

杏林製薬株式会社

フルティフォーム®の吸入方法

キャップの外し方

キャップの左右を持って外します。



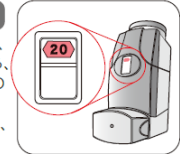
初めて噴霧する場合 または 3日以上使用しなかった場合

吸入器をよく振った後、体から離してアルミ缶を押し、**4回空噴霧**します。



赤になったら再受診

カウンターを毎日確認し、表示が赤色になりましたら、再受診して新しいお薬の準備をしてください。カウンターが「0」になったら、吸入しないでください。



● 次回分の薬剤を正しく充填するため、アルミ缶を押し、元の位置に戻るまでまっすぐ立てたまま操作してください。

吸入ステップ

- 1** 吸入器の底に親指をあて、アルミ缶を人差し指と中指で支え、よく振ってください。
アルミ缶を逆さまに持たないように注意してください。
- 2** 吸入器をくわえる前に、軽く息を吐いてください。
- 3** 吸入口を軽く歯でくわえ、息を吸いながらアルミ缶を押し、薬をゆっくり深く吸い込みます。
シュッと薬剤が出るまでしっかり押しってください。押し後はアルミ缶が戻るまでまっすぐ立てたまま操作してください。
- 4** 薬を吸い込んだ後は、吸入口を口から離し、そのまま3秒以上、息を止めてください。
- 5** ゆっくり息を吐き出します。医師に指示された回数、**①～⑤**を繰り返します。
吸入が終わったら、キャップをつけて保管してください。
- 6** 吸入後は、必ずうがいをしてください。

0001A17XD
3訂版 2025.9

吸入方法の動画は下記の URL からご覧いただけます。

<https://www.ffkyorin.jp>